

2026年度版



鹿児島港湾合同庁舎【平成31年3月完成 6月営繕事務所入居】



国土交通省

Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism

九州地方整備局

Kyushu Regional Development Bureau

鹿児島営繕事務所

Kagoshima Government Buildings Office

「営繕」とは？

営繕とは「建築物の営造と修繕」のことをいい、建築物の新築、増築、改築、修繕、模様替を指します。国土交通省では、「官公庁施設の建設等に関する法律（以下『官公法』）」に基づき、国家機関がその事務を処理する庁舎などの「官庁施設」について、

- ①入札・契約、設計、積算、工事監督・検査などの整備
 - ②整備後も常に適切に機能を維持できるよう、施設管理者へ保全指導
 - ③質の確保のため、技術基準類の作成（制改定）
- を主に実施しています。

営繕の主な施策と事務所の取組

主な官庁施設である庁舎は、官公法第4条で「国民の公共施設として、親しみやすく、便利で、且つ、安全なものではなければならない。」とされています。また、行政サービスを提供する場として、常に適切に機能する必要もあります。

鹿児島県営繕事務所では、営繕部と連携しながら、宮崎・鹿児島県内における官庁施設（主に庁舎）の整備や保全指導を実施するとともに、得られた知見を技術基準類の作成にも役立てています。主要施策として以下の内容に基づき業務に取り組んでいます。

1. 安全なくらしを支える官庁施設 【防災・減災】

官庁施設は、来庁者の安全を確保するとともに、大規模地震や津波、風水害などに備えて、災害応急対策活動の拠点としての機能や行政事務の継続に必要な機能を確保する必要があります。

このため、国土交通省が定めた技術基準類に基づき、新たな施設の整備、既存施設に総合的な耐震性能や対津波性能を確保するための改修、危険箇所や老朽化した設備等の改修、施設管理者への指導や支援に取り組んでいます。



鹿児島地方裁判所名瀬支部
【平成24年度 耐震改修済】



油津港湾合同庁舎
（宮崎海上保安部等が入居）
【平成25年度 耐震改修済】

2. 人にやさしい官庁施設 【ユニバーサルデザイン】

本格的な少子・高齢社会の到来を背景として、ユニバーサルデザインの考え方を導入し、年齢や障がいの有無に関わらずすべての人が安全に、安心して、円滑かつ快適に利用できるよう、新たな施設の整備、既存施設の増築に伴うリニューアルなどに取り組んでいます。



延岡労働総合庁舎
（多機能便所）
【令和4年度完成】



鹿児島第三地方合同庁舎
（歩道より段差なくアクセス）
【令和5年度完成】

3. 官庁施設における適正な保全とストックの有効活用 【長寿命化・老朽化対策】

既存官庁施設の膨大なストックにおいて、年々、施設の老朽化が進んでおり、今後、大規模修繕や大型設備機器の更新が増えるため、施設の老朽化対策を計画的かつ効率的に進めていく必要があります。

既存施設を安全により長く利用し、トータルコストを軽減するため、施設管理者に対し適正な保全を促す指導、老朽化の進行を防ぐ改修により、官庁施設の長寿命化を目指しています。

保全指導のため、現地説明を実施
（宮崎・鹿児島で開催の「官庁施設保全連絡会議」）

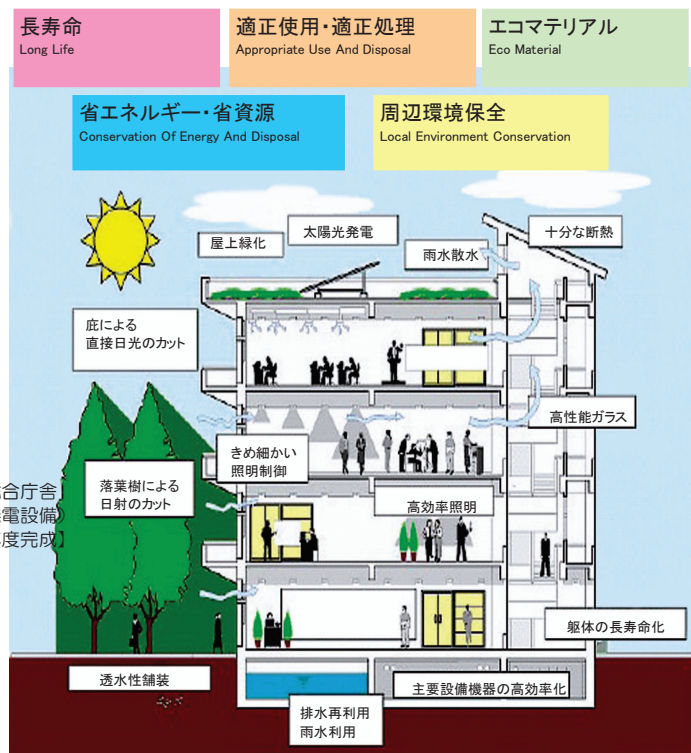


4. 地球環境に配慮した官庁施設 【環境対策】

地球温暖化をはじめ、資源・廃棄物等の様々な環境問題へ対応するため、エネルギー使用量の削減に向けた太陽光発電や高効率機器の導入、循環型社会に向けて環境負荷の少ない資機材の利用や建設副産物対策（発生抑制・再使用・再資源化）、緑化の推進や雨水利用などにより、環境に配慮した官庁施設の整備を目指しています。



鹿児島第三地方合同庁舎
（縦ルーバーによる西日カット）
【令和5年度完成】



環境に配慮した官庁施設のイメージ

5. 官庁施設の木造化及び木質化 【木材の利用促進】

木材利用の推進が、地球温暖化防止や循環型社会の形成に貢献することを鑑み、「脱炭素社会の実現に資する等のための建築物等における木材の利用の促進に関する法律」（通称；都市（まち）の木造化推進法）に基づき、木造庁舎の整備や内外装材の木質化に取り組んでいます。



宮之城森林事務所（木造庁舎として整備）
【令和3年度完成】



会議室（壁にCLT（直交集成材）を採用）

西都児湯森林管理署（木造庁舎として整備）
【平成31年度完成】



延岡労働総合庁舎（会議室の壁及び天井の一部に木材を利用）
【令和3年度完成】



鹿児島港湾合同庁舎（駐輪場に木材を利用）
【平成31年度完成】

6. まちづくり【官庁施設の整備にあたり、地方公共団体とともに、地域連携に向けた方針を検討】

完成施設の紹介

地域の歴史的な景観を守り観光振興やまちづくりに貢献

建物名称：鹿児島第三地方合同庁舎【令和5年度完成】
構 造：鉄骨鉄筋コンクリート造 地上5階 地下1階
最高高さ：20m
敷地面積：8,202.95㎡
建築面積：2,268.46㎡
延べ面積：11,588.42㎡

○地域との連携（鹿児島県、鹿児島市、国）
本敷地は鹿児島城跡の東に位置し、多くの史跡や文化施設、官庁施設が集積しており、鹿児島の歴史・文化・観光を代表する「歴史と文化の道」地区内にあります。

鹿児島県、鹿児島市と国で連携し、景観形成に配慮し、観光振興や歴史景観まちづくりに貢献するよう施設整備しました。

- ・街並みとの親和性を高め、親しみやすい開放感を演出する「エントランスモール」を整備
- ・鹿児島合同庁舎の既存ポケットパークを、御楼門、御角櫓等の写真撮影や展望などもできるスペースとして改修



鹿児島第三地方合同庁舎



エントランスモール



ポケットパーク

地域防災の要となり名瀬のまちづくりを牽引する

建物名称：名瀬第二地方合同庁舎【令和6年度完成】
構 造：鉄筋コンクリート造 地上6階
最高高さ：26.15m
敷地面積：4,207.43㎡
建築面積：738.97㎡
延べ面積：3,021.31㎡

○地域景観との調和

本敷地は、名瀬港の防災拠点機能の強化及び中心市街地整備と連携した広域的なまちづくりを図ることを目的として整備された名瀬港本港地区（マリントウン地区）に位置します。

海の玄関口である名瀬港と中心市街地を結ぶ役割を担うエリアに建つ庁舎として、名瀬のまちに一体感を創出するマリントウン地区まちづくりを先導する施設を目指しました。

○地域防災機能の強化

これまで分散していた防災官署の集約化を踏まえ、活動拠点となる入居官署の主要室すべてを津波浸水深以上のフロアに配置するなど、災害時の施設機能維持に配慮しています。

建物は高い耐震性能を有するだけでなく、津波発生時には内部の階段を開放することで、一時避難が可能な津波避難ビルとしています。



名瀬第二地方合同庁舎



津波避難スペース（屋上）

公共建築相談窓口

国の機関の官署、独立行政法人、公団等の政府関係機関、地方公共団体等を対象に、公共建築全般についての相談に応じます。【窓口】鹿児島営繕事務所技術課長までお問い合わせください。

国の機関の方へ

こんなときどうしていますか？

- Q 庁舎の新営あるいは増築等を要求したいのだが、規模・概要等予算要求に必要な資料の作成方法がよくわからない。
A 営繕事務所では、庁舎の新営・増築についての相談あるいは要求資料作成の協力を行っています。
- Q 庁舎の修繕あるいは模様替をしたいのだが、技術的にどのように改修したらよいのかよくわからない。
A 営繕事務所では、施設の修繕・模様替等が必要となった場合、調査を行い、適切な方法のアドバイス、併せて要求資料作成の協力を行っています。
- Q 建物や設備機器の点検整備や運転管理などの保全(メンテナンス)業務をどのようにしたらよいのかよくわからない。
A 営繕事務所では、保全業務のアドバイスおよび実地指導を行っています。

※その他、長期営繕計画等施設全般についてのアドバイスも行っています。

地方公共団体等の方へ

地方公共団体等が発注する工事の総合評価落札方式の入札手続きにおいて、落札者決定基準を定める際の技術的なアドバイスなどを行っています。

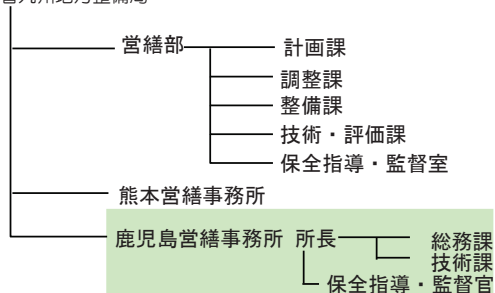
事務所概要

沿革

- 昭和20年 8月28日 九州に運輸省建設本部門司地方建設部が置かれ、鹿児島地区の業務を所掌するため鹿児島県始良郡隼人町に隼人駐在が置かれました。
- 昭和23年 7月10日 建設省設置法により福岡地方建設部隼人駐在となりました。
- 昭和24年 4月 1日 建設省九州地方建設局隼人駐在となりました。
- 昭和24年 7月 1日 建設省九州地方建設局鹿児島営繕工事事務所として、鹿児島市郡元町に設置されました。
- 昭和30年 3月31日 鹿児島市上荒田町152番地に新庁舎が完成し移転しました。
- 昭和42年12月11日 鹿児島市山下町13番21号に鹿児島合同庁舎が完成し移転しました。
- 平成13年 1月 6日 省庁再編に伴い国土交通省九州地方整備局鹿児島営繕工事事務所と名称変更となりました。
- 平成15年 4月 1日 鹿児島営繕事務所と名称変更となりました。
- 平成16年 4月 1日 営繕監督官を保全指導・監督官に、工務課を技術課に、工務係を技術係にそれぞれ組織改正しました。
- 平成23年 4月 1日 技術課に調査・保全係を設置しました。
- 令和元年 6月24日 鹿児島市浜町2番5-1号に新鹿児島港湾合同庁舎へ移転しました。

組織表

国土交通省九州地方整備局



国土交通省 九州地方整備局

鹿児島営繕事務所

〒892-0812 鹿児島市浜町2番5-1号

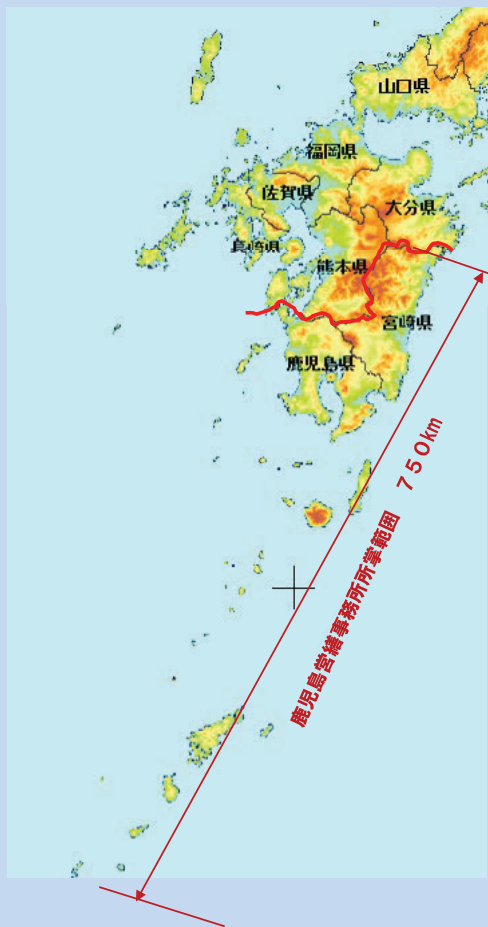
鹿児島港湾合同庁舎4F

TEL 099(222)5188 FAX 099(222)5189

HPアドレス <http://www.qsr.mlit.go.jp/kaei/>



当事務所は、鹿児島県、宮崎両県を所掌範囲としており、管内には、鹿児島県の離島（種子島、屋久島、奄美大島、徳之島等）があり、その範囲は南北750kmにも及んでいます。



鹿児島営繕 事業概要 2026年度

鹿児島営繕事務所が
整備（新築・改修等）を担当している官庁施設

施設数	251
延べ面積（㎡）	400,445.95

（2025年度 官庁建物実態調査の実施施設による）

鹿児島営繕事務所が
保全指導（メンテナンス業務の助言や実地指導等）を行っている官庁施設

施設数	417
延べ面積（㎡）	1,159,314.59

（2025年度 保全実態調査の実施施設による）



加世田公共職業安定所
（平成26（2014）年度完成）



鹿児島県警察機動隊（訓練施設）
（平成27（2015）年度完成）



鹿児島海上保安部船艇用品庫
（令和2（2020）年度完成）

主要施設完成年度

地方合同庁舎

1967 宮崎地方合同庁舎
1967 鹿児島地方合同庁舎
1987 名瀬地方合同庁舎
1988 川内地方合同庁舎
1993 鹿児島第2地方合同庁舎
1994 鹿屋地方合同庁舎
1996 延岡地方合同庁舎
1996 徳之島地方合同庁舎
2002 大隅地方合同庁舎
2003 都城地方合同庁舎
2004 種子島地方合同庁舎
2023 鹿児島第三地方合同庁舎
2024 名瀬第二地方合同庁舎

一般庁舎など

1964 出水税務署
1964 川内税務署
1965 宮崎税務署
1965 日南税務署
1968 高鍋税務署
1968 串木野海上保安部
1971 宮崎県警察機動隊
1972 鹿児島海上保安部指宿海上保安署
1975 伊集院税務署
1975 指宿税務署
1977 鹿児島地方方法務局
1977 動物検疫所門司支所鹿児島空港出張所検疫場
1979 国分公共職業安定所
1979 鹿児島運輸支局

港湾合同庁舎

1956 名瀬港湾合同庁舎
1968 細島港湾合同庁舎
1971 油津港湾合同庁舎
1977 喜入港湾合同庁舎
1992 志布志港湾合同庁舎
2018 鹿児島港湾合同庁舎

法務総合庁舎

1968 名瀬法務総合庁舎
1988 日南法務総合庁舎
2008 宮崎法務総合庁舎

労働総合庁舎

2022 延岡労働総合庁舎



延岡労働総合庁舎
（令和4（2022）年度完成）



鹿児島第三地方合同庁舎
（令和5（2023）年度完成）



名瀬第二地方合同庁舎
（令和6（2024）年度完成）